

乳幼児の発熱

2005年9月5日(月)

強い腰痛で来院されたお母さんが治療後に、8ヶ月の娘さんも発熱やアトピーなどの症状がでているので診てほしいとのことで、娘さんの治療もさせていただきました。

身内の方の看病に福岡に来られ、その環境の変化や様々なストレスが根本的な原因だった。治療は肉体のハード面の治療にソフト面のストレス治療を施した。

治療後には娘さんの発熱にも少し変化があり、次の日の朝は、いつも熱が出ていた状態が久しぶりに発熱も治まり、アトピーの症状の落ち着いたとのことだった。なによりも赤ちゃんのご機嫌がよくなり、かわいらしい笑顔が取り戻され、家族で喜んでいただいた。

ファミリーカイロを信頼してくださる親御さんは、子供が発熱したり、鼻水がでたり、湿疹がでるとすぐに治療につれてきてくださる。そのようなお子さんは、原因が特定しやすいのですぐに良い結果がでる。

しかし、原因が奥深い場合や、病院などで対症療法を受け過ぎて慢性化している場合は、原因を特定しにくく、合わせにくくなる。

乳幼児の治療で最も肝心なのは、お母さんの心身のバランスなので、お母さんを先に治療をして、お子さんを治療すると比較的、原因も特定しやすく、良い結果につながるが多い。

私たちはなによりも子供達の元気になる姿をみるのが、大きな喜びとなる。